

# 出資法人等経営評価書(公益法人会計用)

平成15年7月1日現在

団体名	(財)グリーンふるさと振興機構		代表者	理事長 渡辺 龍一	
所在地	常陸太田市木崎二町937番10		所管部(局)課	企画部 地域計画課	
ホームページURL	http://www.greenful.jp		E-mailアドレス	admingreen@greenful.jp	
基本財産	1,022,850 千円		設立年月日	昭和60年10月31日	
主な出資者	出資順位	出資者名		出資額	出資率
	1	茨城県		922,550 千円	90.2%
	2	圏域18市町村		100,000 千円	9.8%
	3	茨城県畜産農業協同組合連合会		300 千円	0.0%
	4			千円	
	5			千円	
	その他	団体		千円	
設立目的	県北西部地域の18市町村、各種団体、民間企業及び地域住民が横断的連携を図る際の核となり、行政施策と相まって、地域に活力をもたらすための幅広い振興策を展開することによって、県北地域の振興を図る。				
事業内容	(1)地域産業の振興に関する事業 (2)観光レクリエーション開発に関する事業 (3)地域振興に関する各種情報の収集・提供 (4)地域振興を担う人材育成に関する事業 (5)地域振興に関する各種調査、研究、コンサル業務 (6)県等の事業の受託 (7)前各号に付帯する業務 (8)その他、目的を達成するために必要な業務				

## [組織]

7月1日現在の人数		斜字は、県関係者で内数(OBを含む)					
役員		平成13年度	平成14年度	平成15年度	13年度	14年度	15年度
	常勤理事	2	2	2	2	2	2
	非常勤理事	18	18	18	4	4	4
	常勤監事						
	非常勤監事	2	2	2	1	1	1
	計	22	22	22	7	7	7
職員	管理職	2	2	2	1	1	1
	一般職	5	5	5	2	2	2
	臨時職員	1					
	嘱託職員		1	1			
	計	8	8	8	3	3	3
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数
		4	2	2	8	41歳 月	年 8月

## [収支等の状況]

単位:千円

区分		平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
収支の状況	事業収入	90,017	89,471	103,663	84,501	92,461
	事業外収入	40,918	37,474	47,693	36,921	37,785
	収入合計	130,935	126,945	151,356	121,422	130,246
	事業支出	89,400	86,896	111,938	79,498	85,449
	事業外支出	41,808	38,258	40,289	37,329	36,549
	支出合計	131,208	125,154	152,227	116,827	121,998
	うち管理費	37,814	35,046	37,157	33,826	33,710
	うち人件費	62,265	60,669	57,085	62,320	57,804
	当期収支差額	273	1,791	871	4,595	8,248
	正味財産増加額(当期収支差額を除く。)	4,592	3,438	10,245	3,503	2,839
	正味財産減少額( " )	4,034	3,188	10,440	3,796	2,930
当期正味財産増減額	285	2,041	1,066	4,302	8,157	
前期繰越正味財産	1,027,835	1,028,120	1,030,161	1,029,095	1,033,397	
期末正味財産	1,028,120	1,030,161	1,029,095	1,033,397	1,041,554	
財産の状況	資産	1,053,717	1,058,194	1,058,463	1,056,607	1,076,761
	流動資産	23,690	25,546	31,436	26,818	44,188
	固定資産	1,030,027	1,032,648	1,027,027	1,029,789	1,032,573
	負債	25,597	28,033	29,368	23,210	35,207
	流動負債	22,542	22,607	29,368	20,155	29,826
	うち短期借入金					
	固定負債	3,055	5,426		3,055	5,381
うち長期借入金						
正味財産	1,028,120	1,030,161	1,029,095	1,033,397	1,041,554	
財的関与状況	補助金	89,217	85,255	74,576	76,976	72,379
	委託金	7,500	6,000	6,000	7,000	4,354
	貸付金					
	計	96,717	91,255	80,576	83,976	76,733
	財的関与の割合(%)			53	69	59
損失補償・債務保証						

[評価指標]

(財)グリーンふるさと振興機構				12年度	13年度	14年度	評点
計画性	1	経営基本方針の策定	経営基本方針の策定				2
	2	中長期経営計画の策定	(経営改善計画:平成13 ~ 17年度)				2
	3	年次事業計画の策定	具体的な目標設定				2
	4	年次計画・実績の差異分析	計画未達成の原因分析と対策				2
目的適合性	1	事業の意義	事業の必要性の検証				2
	2	事業の効果	(評価の指標: 観光客数 )				2
	3	顧客満足度の把握	(調査方法: アンケート調査 )				1
		目標達成度	% 実績値 ÷ 目標値 × 100	121	103	103	2
	5	収益事業比率	% 収益事業の事業費 ÷ 全事業費 × 100				2
組織適正性の	1	人員構成	役員・職員の構成, 年代構成の適正化				2
	2	職員の動機付け体制	組織の各職員の目標・成果に対する評価				2
	3	業務チェック機能の充実度	業務遂行における組織のチェック機能				2
	4	情報の公開性	事業活動内容・財務の公開状況				1
健全性	1	収支比率	% 事業支出 ÷ 事業収入 × 100	108	94	92	1
		正味財産増減額	千円	1,066	4,302	8,157	1
		流動比率	% 流動資産 ÷ 流動負債 × 100	107	133	148	2
		自己資本比率	% 正味財産 ÷ 総資本 × 100	97	98	97	0
	5	総資本利益率	% 正味財産増加額 ÷ 総資本 × 100		0	0	-1
		借入金依存度	% 借入金 ÷ 総資本 × 100	0	0	0	2
		借入金返済能力	年 借入金残高 ÷ (当期正味財産増加額 + 償却費 + 引当金・積立金)	0	0	0	2
	8	補助金収入依存度	% 補助金収入 ÷ 収入合計 × 100	48	62	56	-1
	9	受託事業の再委託度	% 受託事業の外部委託費 ÷ 受託事業費 × 100	0	0	0	2
		土地の含み損益					2
	11	資金の運用					2
効率性	1	職員1人当たり管理費	千円 管理費 ÷ 職員数	4,644	4,228	4,213	1
	2	人件費比率	% 人件費 ÷ 収入合計 × 100	38	51	44	-1
	3	職員1人当たり事業収入	千円 事業収入 ÷ 職員数	12,958	10,563	11,558	-1
	4	職員1人当たり正味財産増加額	千円 正味財産増加額 ÷ 職員数	133	537	1,019	-1
	5	役員人件費比率	% 役員人件費 ÷ 人件費 × 100	36	42	42	-1
	6	(施設管理運営型) 施設等利用率	% 施設等利用延人数 ÷ 施設等定員数 × 100				
	7 1	(施設管理運営型)・職員1人当たり施設等利用人数	人 施設等利用延人数 ÷ 職員数				
	7 2	(建設製造販売型) 職員1人当たり建設・製造・販売実績	件 建設・製造・販売実績 ÷ 職員数				
	7 3	(役務提供型)・職員1人当たり役務提供実績	件 役務提供実績 ÷ 職員数	19	23	28	1
7 4	(金融サービス型)・職員1人当たり貸付等取扱件数	件 貸付等取扱件数 ÷ 職員数					
8	使用料の減免等	(使用料の減免額: 千円)				2	
9	管理費削減工夫度	削減目標の設定及び成果				1	

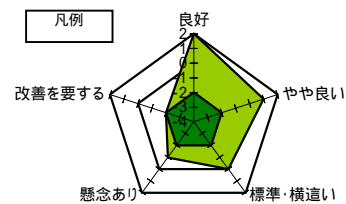
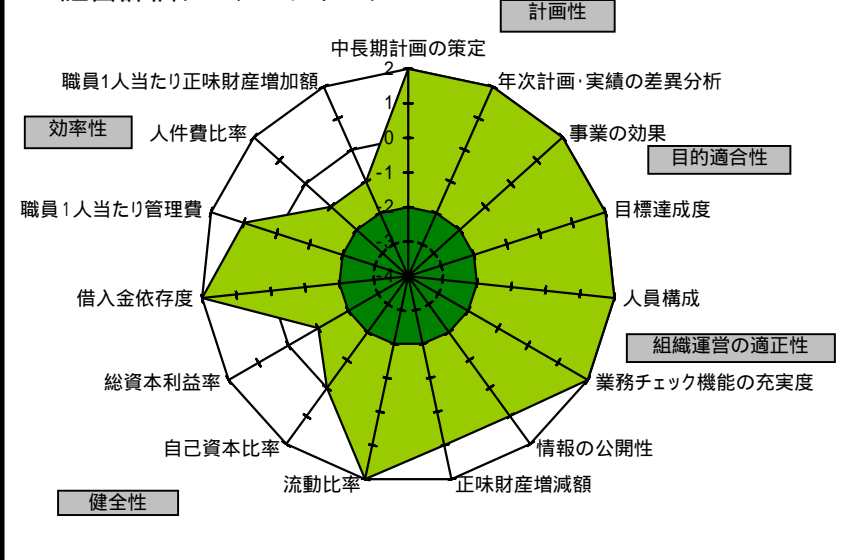
評点集計

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	8	8	100.0%
目的適合性	5	13	14	92.9%
組織運営の適正性	4	7	8	87.5%
健全性	11	20	40	50.0%
効率性	8	-1	28	-3.6%
合計	32	47	98	48.0%

警戒指標

--

経営評価レーダーチャート



[経営概況, 経営上の課題・対策等]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
<p>現在第3次中期計画(H13～H17)に基づき、各年度の事業を計画・実施しているが、この中期計画において提案した地域振興事業の具体化に向けて、市町村及び県への働きかけを行うとともに、事業の受託等により事業費の確保を図る。</p>	<p>アンケート調査等により顧客の満足度把握に努め、県北地域の振興を図るための当財団ならではの独自事業を提案・実施する必要がある。</p>	<p>市町村派遣職員の在職年数を複数年とすることで、教育研修の成果を業務に反映させることにより、事業の質の向上を図る必要がある。</p>	<p>基本財産の運用益増加が見込めない状況下で、県の補助金や各種受託事業を効果的に活用するとともに、引き続き県債等高利回りの確保を図る必要がある。</p>	<p>徐々にではあるが事業を整理し、役務の提供実績を伸ばすなど、効率性の向上に努めているが、引き続き零細補助事業の整理により事業を集約し、効率的、効果的な事業の展開を図る必要がある。</p>
<p>今後の事業展開の方向</p>	<p>現在圏域にある18市町村の中には、合併に向けた取り組みがなされているところもあり、平成17年度には市町村の数が大幅に減少し、市町村行政の広域化が進むことになるため、これらの変化に対応して中期計画の見直しを行うとともに、事業の重点化により効率的な地域振興策を展開する。</p>			

記載者職氏名	副理事長 田口 清文
--------	------------

代表者への説明(年月日及び説明時の指示等)

<p>平成15年7月23日(水)に理事長 渡辺龍一(常陸太田市長)に説明。特に意見なし。</p>
--

## [所管課意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
中期計画に基づき、年次計画を作成、計画的に事業実施されている。ただ、目標値設定に関しては、本来振興機構は地域のプロデューサー・コーディネーター的役割(プロジェクト提案 住民等による具体的検討協力 スタートアップ事業支援)を担ってきており、事業実施主体でないことから、数値目標設定が難しいという面がある。	設立目的に沿った事業展開がなされている。グリーンふるさと圏には、県内の過疎町村(9)が全て含まれており、引き続き、関係機関との連携のもと、地域活性化のための事業を実施していく必要がある。	適正に組織運営がなされている。ただし、県、市町村及び金融機関からの派遣(1~3年)職員で構成され、個々の能力・経験を生かし、強い責任意識をもって臨んでいる。	借入金もなく、法人の健全性は確保されている。一方、基本財産運用による財源確保対策が課題となっている。	管理費については、減少傾向にあり、効率化による経費節減の努力がうかがえる。
総合的所見等	県内の過疎町村が全て含まれるグリーンふるさと圏については、引き続き、地域活性化のための事業を積極的に展開していく必要があり、その中核的機関となる振興機構は、今後とも重要な役割を果たしていくことが求められる。自主財源の確保が厳しくなっていることから、なお一層、事業の効率的執行に努めるとともに、事業の重点化を検討していく必要がある。また、振興機構の活動状況が一般県民からは見えにくいという指摘があるため、パブリシティを充実させ、事業成果を積極的に公表していく必要がある。			

## [経営評価チームの意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
従来からの事業を計画的に実施しているが、時代の変化によって地域活性化に対するニーズも変化してきていると考えられ、事業の重点化や、シーズを掘り起しての事業の実施を検討するべきである。	設立目的に沿った様々な事業を展開してきている。しかし、設立後20年近くが経過し、機構に期待される役割も変化していると考えられるので、今後のあり方について総合的に見直しを行うべきである。	職員構成は、本来プロパー職員を持たず派遣職員のみで運営し、派遣期間が終了した職員は派遣元で地域活性化に取り組むことを想定しているため、派遣期間内に事業ノウハウが継承可能になるような職場内研修体制の充実が必要である。財団法人の適正な運営を担保する機関である評議員会を早急に設置する必要がある。	着実な運営により正味財産を確保し経営は安定しているが、補助金等への依存度が高く、自立性は低い。低金利が続く中で基本財産の運用収入や県からの補助金等による財政運営には限界があるため、法人のあり方の見直しと合わせて、基本財産を計画的に取り崩し効果的な事業展開を図ることを検討されたい。	収入額が委託事業量の増減により変動するため、人件費比率等の評点は低いが、1人当りの役務提供実績は伸びており、効率性は向上している。
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">緊急の改善が必要</div> </div> <p>設立以来様々な事業を展開し、グリーンふるさと圏の活性化に重要な役割を果たしている。しかし、圏域の社会経済環境も変化し、圏域内で広域合併が進み機構の枠組みの変動も予想されることなどから、機構の果たすべき役割が変化してきていると考えられ、機構のあり方を抜本的に見直す必要がある。</p>			